

り味が御座いました然し稍々濁つてゐました。味の素は常磐節に近い味がありましたけれども一種變なあまり好ましくない味が御座いました然し醬油を入れて味をつけてみましたところ前の變な味は消えて大体常磐節と同様な味となりました。

左に分量の割合にて經濟上より比較してみました

伊豆節 一錢八厘 (若しかめ節ならば) 一錢三厘五毛

常磐節 一錢三厘五毛 同 前 一錢五毛

味の素 八厘七毛

左に就いて考へて見ますと鯉節は味はよろしいけれどもその値段は味の素の二倍又は二、五倍となります、それで今度は同じ値段での味を比較してみますと伊豆節と常磐節は何れも鯉節の風味はございますけれども稍々水ぼく却つて味の素がよいやうに思はれました。それで經濟と便利の二方面から見ますと味の素は大に用ふる効がありますが若し經濟上のことを考へずに風味の方を主とする人ならばやはり鯉節を相當に用ゆるのがよろしくあります。

なほ此頃出しの花といふものが拵へ出されましたこれは割烹講習會で發明されたもので味の素とよく似て居りますが味はよほど劣るやうで御座います。

以上の各種の味の良否は右について調べたもの五名と他の四五名の人に味はつていただいた結果とで定めたのでございます。

廢物利用に就きて

太田 黒 こま 磯 貝 徳
三村 淺代 深 亦 幸

マルサスの人口原論によりますと「人類は幾何級數でふえて參りますのに食物は算術級數でふえて行く」といはれて居ります之れは必ずしも人類と食物との關係のみに限られた問題では無いだろうと考へます人類は年々歳々に増加して行き生活の程度は益々世の文明と共に高くなつて參りまして限りある海や山から産出するところの自然物は勿論如何に積極的方面に於て創作生産の事に努力いたしましたも他方消極的方面に於て經濟法利用法若しくは廢物利用法等を研究實行いたさなかつたなら早晩生活上の必需品に不足を生じてくることはいふまでもない事だろうと存じますまだそこまで行かないに致しましても前述の消極的方法が行はれると然らざるとにおきましては多數の人に及ぼす便不經濟上に及ぼす影響は蓋し少くないだろうと考へます殊に近來は歐洲大戰亂の影響からいたしました諸物價が非常に騰貴いたしました或ものは二三十倍にもなつて居

ります事業の發展によりて増々需要の増す機械類とかなくてならぬ藥品類又染料などの供給の道が絶たれましてトントン拍子に騰貴いたしましたそれと共に諸物價も亦騰貴いたしましたして經濟不振生活困難の聲があちらこちらに高くなつてまゐりましたので御座います昨今は私共學生社會にもこの影響はさしひいて参りまして皆様も御承知の通りに十五錢のノートは二十錢になりペン先は倍となり紙は三四割の騰貴高を示して其他繪具類をはじめとして筆鉛筆半衿足袋下駄にいたるまで買ふ毎に驚かれるので御座いますつきましては私共も兩親よりいたゞくお金をたゞ徒らに費すわけにはまひりませんまた現在社會方面よりも大ひに廢物利用法を要求して居ります。就きまして私共はこの廢物利用法に就いての研究もあながち無汰ではないでせう否大ひに研究いたしましたならよろしかろうと云ふ考へからこの問題を選んだわけで御座います大層前おきが長くなりまして様で御座いますが私共の研究いたしましたことをお話いたす前に一寸お詫びを申しておかねばなりませんことは技藝科會のあるといふことは餘程前から存じておりましたけれども今日あることはつい先日知りましたことで前々から研究いたしておけばもうそれにこしたことはないにちがひありませんけれども私共の惡習慣として目の前にせまつて参りませんと眞劍になれないといふことで御座りますこの會に於て私共の研究も悲しいことには其例に洩れません何だか足もとから鶏が立つ様なしらべ方をいたしましたして萬事不行届きで何とも申わけがありません

ん話の中には皆様が最早御承知の事が澤山あるだろうと思ひますけれども暫くの間お聞き下さるむことを願ひ致します先づ布片類から申し上げますと、
先リボンでございますがこれは羽織の紐下駄の緒等を作りますし巾着蟻口等に利用いたしますとなか／＼立派でございます古洋服とかマントは小供の洋服になほし細かい所では座蒲團靴みがき石板拭ペン先拭又兒童用カバン等を作ります、古ハンケチは涎掛茶碗覆糖袋鍍蒲團の上覆等に致します、襦袢の袷は二割といたしまして襷を作り縫ひ合せまして座蒲團といたしますこれに細かい白の綱のやうなものをかけて用ひますと立派に見えるものでございますそれから近頃多く用ひられます多好帯に利用いたしますそれは見違へる程立派のものになります、カラカフスでは糸巻指貫襪形玩具箱等を作りますと丈夫でよろしうございます其のまゝで適當の大きに切ります時は荷符とする事が出來ます又カフスは前帯心といたしましてたりカルタ等を作ります、古い袴は小供服エプロンを作り又一尺巾六尺ほどといたしまして子供帯を作ります、ネクタイの古いものは帶止下駄の緒羽織紐を縫ひます、ネルの切はペン先拭とか小供の玩具の犬兎等を縫ひますがこれは玩具として誠によろしいものでございます、絹の布で細く切りましたものはたきとして紙よりも丈夫でよろしうございますこれには縮緬はあまり重いので惡うございますが軽い布は一番よろしうございます、襦袢の袖とか衿とかは一寸搾り染めにいたしますと新しいものゝ様になり

ます、白地單衣は敷布といたしまししたり大風呂敷にいたします事は誰も普通にいたします事でございます、ワイ襯衣では廣い所は西洋前掛を作りますし狭い所では肌襦袢の衿をとりますし子供の夏襦袢等も作ります又歩きはじめの子供の足袋等も作るのもよろしうございます、古真綿は座蒲團の心に入れます、次に紙類で申しますと、反物紙菓子折の厚紙からは煙草盆覆を作ります、雑誌新聞類帯封の紙ははたきによろしうございます、新聞紙は萬用でございます殊に毛織用の虫よけになりますから便利のものございます、切手は皆様も御存じの通り額とか箱の上等に貼りまして用ひます、文房具類で申しますとペン先は多く集ります時は土瓶敷を作りますが少ない時はナイフを作る事が出来ます筆を五本位よせまして刷毛を作りますこれは糊をひいたり水をひいたりいたしますものに便利でございます

飲食物では玉子殻は瓶を洗ひます時に用ひましたり肥料として用ひます、茶滓は乾しまして枕心としたり油物の器を洗ひますとよく油氣がおちます、密柑の皮からはレモンをとります即此の皮を薄くむきまして物と一所に煮ます、香料としてレモンを入れませんがよい香がつかます、お櫃の御飯は糊といたしまししたり又乾して煎物にして食します、其外空罐は小供の手桶を作るとか鼠穴のふさぎに用ひバケツの繕ひに用ひます、燐寸は其の箱の方は種物や卸入等にいたしますし又小供の玩具用として箆子を作ります軸は揚子に作る事が出来ます、竹の屑では水鐵砲とか竹ト

ンボを作り又糊篋などを作ります

竹皮は一寸位に切りましてタワシを作ります傘の竹は盛花の棒といたしまししたり朝顔の鉢にさしてやりますよろしうございます、灰は灰汁といたしまして洗濯に用ひ又鯉節とか果物の貯藏に用ひますし肥料に用ひたりいたします懷爐灰は火針に入れて置きますと火がよくおこりまして便利でございます、黍殻の様なものでも一寸手を加へますと琴の形が出来まして小供の玩具といたす事が出来ます

以上は極普通の事で大抵の御宅ではすでに利用して居られます事がございますがこゝに一つ新しく實驗して見た事がございますそれは近頃非常にセルロイドが用ひられますと共に其の廢物の非常に多いのにもかゝらずこれが利用法を講せられませんでした所が或醫者が簡單でしかも有効な法を發明せられましたそれは先櫛ピン等の古いものをよく洗ひまして油氣を去りまして細かに切りこれを氷酢酸とアルコールの等量の液に入れまして時々振つて置きますと二日程たちますと全部が溶けてしまふますこれを適當に薄めまして用ゐるのでございます薄めます時は單にアルコールのみでよろしうございますこれを揚子の古いものにもつけまして火にかざしつゝぬるのでございますが若し日向でいたしませば最よろしい様でございますこうしてぬりまして乾きますとそこに透明なセルロイドの膜が出来るのでございますこれは水をはぢきます事は勿論酸アルカリに

も堪へて堅牢なものでございますセルロイドに色のついて居ります時には膜にも色がつきませんが透明な膜が得られますので下の地色等を覆ふ事は御座いませぬ誠に紙箱とか表紙等にいたしました所滑かで光澤がありなかく綺麗でございます一寸考へますとセルロイドですから火を引き易くはないかとの御懸念も御座いませうがこれは其の膜が極薄いために焦げる事はございましても火を引くやうな事は決してございませぬですからこれを適當の所に用ひますればよほど用途は廣くする事が出来ようと思ひます、以上は業の傍先生にお尋ねいたしました事或は新聞雜誌等より知り得た事を只わずかの時間に其の大体を集めましたに過ぎないので御座いますが若し此の考をあらゆる方面にむけまして其の利用應用の法を講じましたならば實に無限のものであらうと思ひます故に將來教師として主婦として立つべき私共は益々努力研究して家庭もしくは國家の經濟方面に大に注意すべきでございます

豆腐に就いて

養成所一部

鎌田 豊

原田 ちるる

私共は此度お豆腐に就いて少しく調べましたから、只今からそれを申し上げます。

ある人の申しました言葉に「世の中は豆腐で暮せ、まめで四角で柔かで」と申す事が御座います、これは誠に味ふべき言であらふと思ひます。それで此の「まめで」、「四角で」、「柔かな」お豆腐に就いて研究致しますのも決して無益の事ではあるまいと思ひます。

酒屋へ三里豆腐屋へ五里、これはよく世間の人の申す事で御座いますが、これは昔の事で御座います、只今では如何なる片田舎へ参りましても、苟も人家のあります處には肴屋はなくとも豆腐やはない處は殆御座いません。

然らば此のお豆腐は我が國で初めて考へ作り出したものかと申しますに、さうでは御座いませぬ昔支那の人が初めて作り出したもので御座いまして、以後支那内地に於て容易に魚肉の得られぬ地方及、殺生を禁ずる佛説を信じて肉食を避くる人々の間に頗珍重せられました、これは、豆腐を以て吾人の體に必要な窒素を含有する食品中最大切なるものとした爲で御座いませう。

此の豆腐が我國に傳つたのは紀元二一九〇年頃の事であらふと思はれます。何故かと申しますとその當時の歌合の歌に豆腐賣素麵賣等を詠んだ歌が載つて居りますが、その以前の記録には少しもそんな事が見えませぬ。それで豆腐の我が國に傳つたのは大方此頃の事であらふと思ふのでございませぬ。我が國に初めて傳つた頃にも、矢張佛家の間に専用ひられました。しかし只今ではお豆腐は決して僧侶等の専有物では御座いませぬ。色々な形となつて貴賤貧富を論せず、老若男女